

# 新任役員

## 副会長 兼 ET事業本部長

### 渡辺 博之

株式会社エクスマーシオン



2017年よりET事業本部長として、IoT時代にふさわしい新たなET展を構築すべく色々と尽力してきましたが、昨年はコロナ禍の下、展示会や関連するイベントすべてを全面デジタルシフトせざるを得なくなり、まさに「展示会事業のDX」をどう実現するか、という非常に重要な局面に立つこととなりました。展示会事業は、ご存知のようにJASAの収益事業の大きな柱でもあり、まずはこの大事な局面をいかに上手く乗り越えるかが、最優先のミッションと考えています。

今年度もコロナ禍の影響は続いていますが、2017年より掲げている「エッジテクノロジー総合展」としての内容のさらなる充実と、リアルとデジタルの融合によるビジネスマッチングの加速を目指して、引き続き注力していく所存です。

また、今年度からは、あらたに副会長という、竹内会長をサポートする重要な立場を拝命することになりました。こちらも合わせて可能な限り尽力して参りますので、これまで同様、みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

## 交流推進本部長

### 廣田 豊

TDIプロダクトソリューション株式会社



JASA会員の皆様こんにちは、TDIプロダクトソリューションの廣田です。少しでもこの業界に恩返しができればと思い、本年度より新設されました交流推進本部の本部長に就任させて頂きました。

交流推進本部は、ビジネス交流委員会(旧協業推進)、人材交流委員会(旧交流促進)、国際交流委員会(旧国際)の3委員会により構成されており、主に人や企業、各種団体との交流を通じ、JASA会員様及び組込み業界の発展に貢献する事を目的に活動してまいります。

今年度の活動内容は

- ・ビジネス交流委員会(古屋委員長)  
各支部と連携した情報発信/JASA認知度の向上/企業間のビジネスマッチングや事業創造の機会を創出
- ・人材交流委員会(安藤委員長)  
会員の新卒求人活動支援/会員の管理者・幹部候補育成支援/学生層の認知度向上
- ・国際交流委員会(岩永委員長)  
海外視察ツアーの実施/グローバルフォーラムの開催/海外人材活用・育成の推進

を予定しております。

今年度はコロナ禍での活動という事で、Face to Faceでの交流には制限があり、オンライン中心の活動となる可能性が高いのですが、場所を問わないというメリットを生かした活動にしていきたいと思っております。

宜しくお願いいたします。

## 副会長

### 神山 裕司

株式会社コア



このたび副会長に推薦され、就任することになりました株式会社コア 神山(こうやま)です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。本年4月、当社グループ人事により中四国カンパニー配属となり、広島へ赴任したばかりです。

JASAでは、つい最近まで関東支部長として主に東京を主戦場に活動していた身として、改めて気持ちを新たにしている処です。

昨年より続く新型コロナウイルスの災禍は、ワクチン接種が進む状況になつては来ましたが、未だまだ予断を許さない状況が続いております。

一方で、三密を避けるためにオンライン会議や在宅勤務が進み、場所に左右されず移動が必須でない働き方は、結果としてDX化が加速する要因にもなりました。

今後、この状況が落ち着き以前のように対面可能な世の中に戻ってきたとしても、有用性の高い今の仕組みは共存していくであろうと思われまふ。このことは、JASAの在り方/あるべき姿を改めて見つめ直す良い機会にもなつています。

現場レベルで推進中のDX化を携え、JASA活動に変化を起こせるよう尽力してまいります。

## 国際交流委員長

### 岩永 智之

グローバルイノベーションコンサルティング株式会社



国際委員会には2013年くらいから講演等を通じて御世話になっております。

弊社は創業11年目を迎え、海外拠点としてミャンマー及びUSに進出し、グループで300名弱のIT会社です(日本人は全体の3%の10名で残りはミャンマー人(日本で一番正規雇用)。どちらかというところEmbeddedというよりもJAVA/PHP/.Net/RoR等の一般的なIT開発が多く、最大の特徴はミャンマーでのオフショア開発です。元々海外進出のコンサルティングを専門家としてJETROやJICA関連で行っていた事もあり、その面ではIT/海外進出そしてIT以外のミャンマー人財紹介(食料品製造や溶接)が3つの主業務です。

委員長は廣田様から引き継ぎますが、素晴らしい点(海外視察や各種交流会)を残しながら、新たな基軸もメンバーのご協力を頂き企画・実行したいと考えております。それは日本そしてJASA会員メンバーでのグローバル人材の育成強化です。やもすると、技術一辺倒になりがちで、それも男性が殆どという状況は深く理解しておりますが益々多様性に対する理解と啓蒙を内外含め意識的に行っていく必要があります。外国人・女性・学生等マイノリティでの観点含め異なった角度でも交流を深めたく何卒宜しくお願いいたします。

# 理事挨拶

## ビジネス交流委員長

古屋 繁之

アンドールシステムサポート株式会社



この度、理事及び、ビジネス交流委員会委員長を務めることとなりました、アンドールシステムサポート株式会社の古屋と申します。微力ながら、組込みシステム業界、本協会の発展に貢献できるよう、鋭意努力して参ります。

本年度より、協業推進委員会は、ビジネス交流委員会へ名称が変更されました。委員会のミッションは、「各地の支部と連携した情報発信」「JASA(事業)の認知度向上」「企業間のビジネスマッチングや事業創造の機会を創出」となります。

昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大により、従来行われていた対面でのセミナー及び交流会の実施ができず、オンライン化が進んでいます。オンラインでは物足りない部分もあるかと思いますが、時間や場所の制限なしにできるオンラインの利点を活かしたセミナーの開催、また、今後の状況次第ではありますが、リアルとオンラインを組み合わせたハイブリッド開催なども視野に入れ、企画運営していきたいと考えています。

会員の皆様にメリットを感じて頂けるような企画運営を目指し、委員会メンバー一同、努力して参りますので、ビジネス交流委員会の活動へのご理解、ご協力の程、宜しくお願ひいたします。

## 教育研修コンテンツ事業推進委員長

小林 靖英

株式会社アフレル



教育研修コンテンツ事業推進委員会は、JASAが保有するコンテンツ、会員企業が保有する知識、情熱、さらに関係人脈の知識を含めて、総合的な教育研修資産として会員企業のみならずが活用できるように、そしてさらに広く有用な教育研修サービスとして提供できるようにしていきたいと考えています。

「教育・人材育成は経営課題の万年2位」と、ずいぶん前から言われてきましたが、Covid-19パンデミックによってDXに向けた人材対応は大幅に前倒しとなりました。こうした社会変革を強く認識する会員企業経営者のみならずと、業界人材育成の高度化へのアクションを進めたいと思います。ご支援、ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

## 人財交流委員長

安藤 亘

イーエルシステム株式会社



本年度の人財交流委員長になりましたイーエルシステム株式会社の安藤と申します。JASAではETwestの実行委員として立ち上げから携わり、近畿支部を中心に活動をしてまいりました。

本年度から旧交流促進委員会と旧研修委員会の業界研究セミナーを合わせて人財交流委員会となりました。JASA会員向けに管理者・幹部候補育成支援を行ったり、求人活動支援、就活生への業界の認知度向上など人財の交流を促進するための事業を行います。

今年の管理者・幹部候補育成支援は「次世代リーダーWG」を全国規模のオンラインで実施します。テーマは「アフターコロナ」となっており、コロナ過で大きく変化した価値を見つめなおし、新規ビジネスをセミナーとグループワークを活用して検討していきます。ねらいは、ビジネスチャンスを捉える視点を習得し、グループワークによってネットワークを作ることになります。

実際、年間のセミナー終了後も活動を続けているグループもあるほどです。開催に当たってはZoomやMiro(ホワイトボード)といったオンラインツールをフル活用しますので、新しいグループワークも体感できると思います。この機会に是非ご参加をお願ひいたします。

## ET技術者教育委員長

清水 徹

学校法人 東洋大学 情報連携学部



この度、JASA 人材育成事業本部・ET技術者教育委員会でETロボコンを担当させて頂くことになりました清水徹です。ETロボコンは平成14年から毎年開催されてきた組込みソフトウェア開発によるロボットコンテストとして、学生から若手エンジニアの技術者育成に大きく貢献して参りました。その歴史を積み上げてきたご努力、ご尽力に常に敬意を抱きつつ、JASA会員の皆さまや様々なJASA活動、更には広く社会のIT教育活動との連携機会を広げることができればと思っております。

少し自己紹介させていただきます。電機・半導体メーカーで約30年、組込みマイクロプロセッサ、組込みマイクロコンピュータの研究・開発・事業化に従事した後、大学教授として教育・研究に携っています。現在勤務している東洋大学情報連携学部(INIAD)は、コンピュータサイエンス/ビジネス/デザイン/社会システムの4コースを持ちつつ学科は1つで専門性ととも広く柔軟な連携ができる学生の創出をめざしています。そんな二十歳前後の学生と日々接する経験をベースに、改めてETロボコン活動を勉強させて頂きたいと思います。